

肥後 洋一朗

## GO! HIGO JOURNAL

2012年  
初夏号

## 下水処理場をエネルギー拠点に!

太陽光発電2メガワット級導入を肥後洋一朗が訴え!

東日本大震災に伴う福島県での原発事故を契機に、原発に依存しない社会づくりが叫ばれている中、太陽光や風力などの再生可能な自然エネルギーへの関心が高まってきています。府議会都市住宅常任委員会でひご洋一朗は「下水処理場においては、豊富な資源があり、これらの資源を活用してエネルギー利用すべき。」と下記の趣旨で訴えました。

- ① 南部水みらいセンターの広大な土地を利用し、民間企業の資金とノウハウを活用して整備を推進すべき。
- ② 中央水みらいセンターの水処理施設の上部空間約3haに、太陽光発電施設を設置検討すべき。



▲ 南部水みらいセンター（泉南市域）▲



▲ 中央水みらいセンター（茨木市）▲



今後、大阪府は、下水処理場のエネルギー拠点化を目指し、南部水みらいセンター（泉南市域）にある3ha規模の未利用地に、大規模な太陽光発電システムを導入。電力全量買取制度に基づき、売電価格と発電コストの差額をもって民間事業者の自立的な事業運営を目指します。

## 大規模災害時の帰宅困難者対策に万全を尽くせ!

先の府災害対策調査特別委員会において、ひご洋一朗は大規模災害が発生した際の帰宅困難者対策について質問しました。万が一、大規模災害が昼間に発生した場合、鉄道やバスなどの交通手段が停止。帰宅困難者が大量に発生。駅や集客施設でのパニックなど様々な問題が引き起こります。

昨年の東日本大震災時の首都圏では、交通機関のマヒや情報通信手段の断絶などにより東京都内で約352万人の帰宅困難者が発生し大きな混乱を招きました。実際の災害発生時には、

◇一斉に帰宅せず出来るだけ会社等に留まるよう行動する。

◇災害時の伝言ダイヤルの活用、また、災害時支援ステーションの利用などを実践してもらう。

など、多くの府民に、災害時の帰宅困難者の問題を知っていただき、府民の防災意識の向上を図るとともにそのための継続的な訓練を実施すべきと訴えました。



ひご洋一朗は積極的に議会報告会、市民との語る会、街頭活動を行っています。皆様の声をしっかりと承ってまいります。

府政に関する相談やお問合せは

<http://y-higo.net/>

昭和39年8月17日生まれ  
鹿児島県出身  
公明党大阪府本部青年局長

公明党  
大阪府議会議員 **肥後 洋一朗** 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貫々堂ビル203号  
TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145